

令和6年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	とき保育園	所在地	羽咋市千路町は10番地
指定管理者	社会福祉法人羽咋麻耶福祉会		
住所	羽咋市中央町サ60番地	選定方法	非公募
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理料	78,303千円（令和6年度決算額）		
評価担当課	こども課		
年度重点目標	「保育環境評価スケール」を活用し、保育環境及び保育力の向上を推進するとともに、異年齢保育により児童の縦のつながりを深める。		

評価項目		評価する内容の詳細	評価 中間	評価 年間	確認方法	備考
1	職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	現地	事業計画書・配置充足表等で確認。
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	現地	職員研修綴り等で確認。 園外研修とリモート研修を併用しながら、参加可能な研修に参加している。
		指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。（届出済みの業務委託部分は除く）	A	A	現地	再委託届出提出済み。 （委託先1件の変更）
2	施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	現地	適正になされている。
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	適正になされている。
		法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	現地	消防設備点検報告書で確認。 1回目6月12日、2回目12月19日に実施。
		保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	現地	適切に処置されている。 （不良箇所1件、改善済）
		備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	備品台帳で確認。 （こすもす保育園と合同で管理）
3	サービス向上への取組状況 （アンケート調査による意見及び対応は項目9に）	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	現地	個人情報に留意しながら、おたよりや行事写真の提供（紙面、アプリ）に活用している。
		特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	現地	該当事例なし。
		利用者に対して満足度について調査（アンケート・意見箱の設置等）を行ったか。	A	A	現地	意見箱の設置。 毎年保護者アンケートを実施。結果及び園の回答を保護者にお知らせしている。
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	現地	個別対応でケースごとに適正に対処している。
4	防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	現地	毎月1回想定災害を変えて防災訓練を実施している。8月21日には緊急時お迎え訓練実施。
		リスクに応じた保険等に参加しているか。	A	A	現地	日本スポーツ振興センター及び民間保険に参加している。

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備 考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	A	現地	鍵付きの棚に保管されている。
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	現地	適正になされている。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	現地	適正になされている。
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	—	—	—	小口現金出納簿等で確認。収入は適正に管理されている。また、保育所利用料の増減は保護者の保育希望によるため、評価になじまない。
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	—	—	—	保育所利用者数の増減は保護者の保育希望によるため、評価になじまない。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	現地	毎月特別保育集計、月報等を提出している。
9	アンケート調査意見及び対応	アンケートは保護者及び子育てふれあい広場利用者に対して随時実施。結果や意見に対する改善点等については、園内で共有するほか、地域代表者委員会や保護者会に提示する。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	園児の健全育成のため、保育所・家庭・地域等との連携を促進する交流イベントを継続していく。保育士の育成を図る取組や研修を充実し、保育力向上を推進する。 令和7年7月から開始予定の病児・休日保育の実施に向けて、保護者への周知と、現在と変わらない保育の実施により、保護者に寄り添った支援を提供していく。				
11	今後の管理方針	現行のとおり。 また、R7年度で指定管理者の指定期間が終了するため、次期管理運営業務を行うに当たっての基本的考えや計画の見直しを検討する。				
総合評価		中間評価	年間評価		令和5年度	令和4年度
		A	A		A	A

【別紙】指定管理者制度施設の利用者数及び収入額について

【注意点】

1. 各施設ごとに記入してください。
2. 差引増減数及び増減額が大きい場合は理由を記入してください。
3. 表が足りない場合は、表又はシートをコピーしてください。

【所管課】 こども課
 【施設名】 とき保育園

1. 利用者について

(単位:人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率
上半期(4月～9月)	262	234	28	12.0%
下半期(10月～3月)	272	245	27	11.0%
計	534	479	55	11.5%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	入園希望児童が増加したため。			

2. 使用料又は利用料について

(単位:千円)

	今年度使用料 又は利用料	前年度使用料 又は利用料	差引	増減率
上半期(4月～9月)	0	2,048	-2,048	-100.0%
下半期(10月～3月)	0	2,229	-2,229	-100.0%
計	0	4,277	-4,277	-100.0%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	令和6年度から市内児童の保育所利用料は無償。			

【特別保育】

一時保育

1. 利用者について

(単位:人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率
上半期(4月～9月)	5	13	-8	-61.5%
下半期(10月～3月)	4	42	-38	-90.5%
計	9	55	-46	-83.6%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	保護者の定期利用回数が減少したため。 避難児童の一時保育受け入れがなかったため。			

2. 使用料又は利用料について

(単位:千円)

	今年度使用料 又は利用料	前年度使用料 又は利用料	差引	増減率
上半期(4月～9月)	8	30	-22	-73.3%
下半期(10月～3月)	2	13	-11	-84.6%
計	10	43	-33	-76.7%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	保護者の定期利用回数が減少したため。			

延長保育

1. 利用者について

(単位:人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率
上半期(4月～9月)	849	863	-14	-1.6%
下半期(10月～3月)	790	520	270	51.9%
計	1,639	1,383	256	18.5%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	保護者の就労等による保育希望回数が増加したため。			

2. 使用料又は利用料について

(単位:千円)

	今年度使用料 又は利用料	前年度使用料 又は利用料	差引	増減率
上半期(4月～9月)	91	109	-18	-16.5%
下半期(10月～3月)	106	78	28	35.9%
計	197	187	10	5.3%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)				